

平成 29 年度特別養護老人ホーム紫桐苑事業報告書 (紫桐苑短期入所生活介護事業所含)

特別養護老人ホーム紫桐苑においては、入所者一人ひとりの人権と生活を尊重し、「自分らしい生活」を実現するための支援が施設サービスの基本と位置付けて取り組みました。

また、事業の実施にあたっては、地域における介護施設としての存在と役割を認識し、基本的な支援の水準を常に維持すること、地域及び地域住民との親しみある関係を築くこと、福祉人材の育成に寄与することが総合的に果たせることを目指して取り組みを進めてきました。

1 事業の概況

(1) 事業種類

介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

短期入所生活介護

介護予防短期入所生活介護

(2) 事業規模

特別養護老人ホーム : 定員 50 名

短期入所生活介護 : 定員 10 名

2 事業の実施状況

(1) 生活支援

① 食事

食は健康と楽しみという重要な位置を占めることから、利用者への嗜好調査を実施して得られた意向を反映しつつ、個々の食形態や健康状態に応じた栄養管理をもって健康に過ごせるよう努めました。また、安全な食事を提供するために調理環境の衛生保持に努め、調理職員の細菌検査、厨房内消毒を月 1 回実施しました。

② 入浴

入浴回数は、原則として一人につき週 2 回行い、更に本人の希望により入浴できるよう月曜日から土曜日まで入浴を実施しました。また、体調の都合で入浴できない場合においては清拭を行うことで衛生保持に努めました。

③ 排泄介助

おむつ交換は、定時交換 4 回及び随時の個別確認、ケアコール対応により実施しました。

④ 自分らしい生活

一人ひとりの生活のリズムを大切にし、本人の意思や意向を確認しつつ、自由で自分らしい生活が送れるよう、声掛けをもってサポートすることに努めました。

⑤ 施設内行事・余暇活動

施設における人と人のふれあいの場として、毎月の誕生会、節句や季節に応じた諸行事を実施しました。また、意向調査を行い、利用者の意向を踏まえつつ身体機能の維持増進に役立つ趣味活動を考え、週 2 回のペースで活動を実施しました。

⑥ 身体拘束ゼロ

身体拘束から起こるリスクの重大さを知り、「身体拘束を行わないのは当然である」という認識のもとでケアに取り組むことができました。また、やむを得ず身体拘束を行うケースにおい

ては、定期的な検証と経過観察をもって対応することに努めました。

⑦ 事故防止・リスク軽減

施設で起こりうる事故を未然に防ぐための定期的な会議をもち、また、発生した事象については、再発防止のための早急な対策会議をもって利用者の事故・リスク軽減に取り組みました。

(2) 個別支援の充実

アセスメントから得た重点的なケアや個別性のあるサービスを提供できるように定期的（半年ごと）なケア会議をもち、入所者家族と多職種間の連携をもって取り組みました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ケア会議	4	9	12	10	8	7	8	8	9	13	8	6	102

(3) 健康管理

入所者一人ひとりの心身共に健康で充実した日常生活が送れるよう、定期バイタルの測定、嘱託医師による回診（週1回）、健康検診（年1回）、を実施して健康管理を行いました。また、インフルエンザの流行期は、入所者・職員に予防接種を実施、面会者に対してもうがい、手洗いの励行等を強化し、更にマスクの着用をもって感染症対策を行いました。

実施日	健康検診概要
5月8～19日 (14日)	入所者歯科検診実施（47名） 医療機関：宮古市国民健康保険新里診療所 ※この期間以後に入所された方は、入所後に随時実施
7月5、12、19、26日、10月25日	入所者健康診断実施（51名） 医療機関：宮古市国民健康保険新里診療所 ※この期間以後に入所された方は、入所後に随時実施
11月1、8、15、22日、12月6、27日	入所者インフルエンザ予防接種実施（49名） 医療機関：宮古市国民健康保険新里診療所 ※職員インフルエンザ予防接種実施 11月9日～27日

(4) 口腔ケアの推進

入所者個々の口腔内状態の維持及び向上、誤嚥性肺炎予防・感染症予防ならびに口臭を防止することを目的とし、新里診療所歯科医との連携をもって食前・食後の口腔ケアに努めました。連携して取り組んだ内容としては、入所者全員の歯科検診（年1回）、歯科衛生士の個別指導による口腔ケア（週1回、計41回）を実施しました。

(5) 生活環境への配慮・衛生管理

各種介護器具の安全点検を定期的実施し、より安全に生活できる環境の整備を図りました。また、施設内の装飾や掲示物の工夫をもって、楽しみある景観作りに努めました。施設内の除菌・脱臭のため、オゾン除菌脱臭機による、くん蒸消毒を月1回実施しました。

(6) 会議

施設の運営及び管理、支援に対する方針の統一を図るため、各種の会議体を設置し、定期的な検証と検討をもって事業の推進を図りました。また、法人各事業所の職員で委員会を構成し、労働災害対策、危機管理、感染症対策、広報活動、内部研修、サービス評価については法人単位で取り組みました。

(7) 専門組織及びチーム活動

各職種の代表により入所者の生活支援の向上と充実を図るため、事故防止検討委員会、感染症管理委員会、身体拘束廃止委員会、口腔ケア計画委員会等の活動を展開しました。また、介護係における諸課題の解決、グループケアの推進を図るため、口腔ケア担当、行事・レク担当、事故・ヒヤリ防止担当、ショート担当、介護用品等管理担当のチームでの活動も展開しました。

(8) 職員研修

介護支援の向上や援助等に関する基礎知識の習得のため、施設内での内部勉強会を延べ14回実施しました。また、外部で開催された研修会へ56回、延べ68名が参加しました。

実施日	内部研修概要
5月18日	第1回スキルアップ勉強会「接遇・コミュニケーション」
5月19、26日	新人職員研修「法人のサービス概要等」
7月20日	第2回スキルアップ勉強会「個人情報保護・守秘義務」
9月21日	第3回スキルアップ勉強会「メンタルヘルス・結核」 外部講師；宮古保健所職員
11月9日	第4回スキルアップ勉強会「インフルエンザと感染予防、吐物処理実習」
12月7日	法人全体研修「接遇」 外部講師；AIビジネス 中村氏 同日に2回開催
1月26日	法人全体研修「接遇」 外部講師；AIビジネス 中村氏 同日に2回開催
1月、2月	口腔ケア研修 外部講師；宮古市国民健康保険新里診療所歯科医師 計4回開催

(9) 防災対策

火災予防のため、また、自然災害の発生時に入所者と職員が一体となって行動が取れるよう防火・防災対策を計画し、編成している自衛消防隊により避難訓練を実施しました。当該年度においては、火災と地震を災害想定としたが、台風10号被害の経験を風化させないためにも、今後の防災対策では、大雨と河川氾濫時の対応を訓練内容に盛り込んでいくこととします。

実施日	避難訓練概要
9月8日	第1回自衛消防避難訓練（地震及び火災想定、初期消火訓練） 宮古消防署新里分署立会い
3月16日	第2回自衛消防避難訓練（火災想定） 宮古消防署新里分署立会い

(10) 交流・ボランティア及び実習の受入れ

地域住民とのふれあいや交流の機会がもてるように努めました。具体的には、新里保育所との定期的な交流、新里地区の小中学校との交流、慰問者の受入れ、職場体験の受入れ、地域行事への参加や見学等を行いました。

実施日	行事概要	実施日	行事概要
5月20日	新里小学校大運動会見学(新里小学校)	9月20日	新里中学校福祉体験学習受入(紫桐苑) 2日間
6月27日	新里小学校4年生施設見学(紫桐苑)	9月21日	敬老会開催(紫桐苑・デイスサービス合同)
7月18日	男女共生推進センターサークル団体慰問(紫桐苑)	10月13日	高校生の職場見学受入(紫桐苑)
7月24日	宮古商業高校生インターシップ受入(紫桐苑) 3日間	10月14日	新里小学校学習発表会見学(新里小学校)
8月3日	青山学院女子短期大学ワイアソックス慰問(紫桐苑)	10月15日	新里まつり見学(行事会場)
8月4日	納涼祭開催(紫桐苑、桐の花)	10月15日	南川目さんさ踊り団体慰問(紫桐苑)
8月8日	新里中学校ボランティア活動受入(紫桐苑)	10月29日	バンド演奏団体慰問(紫桐苑)
8月20日	茂市熊野神社例大祭神輿来苑(紫桐苑)	11月5日	盛岡さんさ伝承会もいち慰問(紫桐苑)
9月5日	資生堂「いきいき美容教室」実施(紫桐苑)	11月28日	新里小学校4年生交流学習(紫桐苑)
9月6日	新里中学校福祉体験学習講師派遣(新里中学校)	12月7日	新里保育所交流会(紫桐苑)
9月11日	宮古職業訓練協会訓練生施設見学(紫桐苑)	12月26日	新里中学校ボランティア活動受入(紫桐苑)
9月12日	新里小学校福祉体験教室講師派遣(新里小学校)	3月13日	青山学院女子短期大学ハートヘル慰問(紫桐苑)

○不在者投票の実施状況

実施日	不在者投票概要
6月22日	宮古市長選挙及び宮古市議会議員補欠選挙 投票実施者11名
10月17日	第48回衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査 投票実施者4名

3 利用者の状況

(1) 紫桐苑長期入所者

① 年齢状況

	～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳～	計
男	0	2	2	1	1	3	2	0	0	11
女	0	0	0	2	6	14	8	9	0	39
計	0	2	2	3	7	17	10	9	0	50
比率(%)	0.0	4.0	4.0	6.0	14.0	34.0	20.0	18.0	0.0	100.0
平均男性 80.5歳 平均女性 88.9歳 全体平均 87歳 最高 99歳 最低 67歳										

② 在所期間状況

	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上	計
男	2	3	3	3	0	0	11
女	4	12	12	5	4	2	39
計	6	15	15	8	4	2	50
比率(%)	12.0	30.0	30.0	16.0	8.0	4.0	100.0
平均男性 3年7ヶ月 平均女性 5年 全体平均 4年8ヶ月 最高男性 9年10ヶ月 最高女性 24年11ヶ月							

③ 入退所状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者	男	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	3
	女	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4
退所者	男	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	3
	女	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
月末 在所者数	男	12	12	12	12	12	12	12	12	12	11	11	11	—
	女	38	37	38	38	38	38	38	38	38	38	39	39	—
	計	50	49	50	50	50	50	50	50	50	49	50	50	—
退所者の平均在所期間 3年9ヶ月														

④ 新規入所者の入所前状況

	男	女	計
自宅	1	1	2
医療機関	1	2	3
老健他	0	1	1
計	2	4	6

⑤ 退所者の退所後状況

	男	女	計
死亡	2	3	5
長期入院	0	0	0
計	2	3	5

⑥ 介護度区分状況

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男	0	0	1	5	5	11
女	0	0	6	17	16	39
計	0	0	7	22	21	50
平均男性 4.4 平均女性 4.3 全体平均 4.3						

⑦ 面会状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
面会者	123	186	135	170	222	157	155	142	141	102	0	94	1,627

⑧ 苦情受付状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
苦情等	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3

(2) 紫桐苑短期利用者

① 利用状況

	利用者数	最高齢	最年少	平均
男	15	95歳	70歳	87.6歳
女	71	101歳	67歳	88.1歳
計	86	—	—	88.0歳

実施日数	365日
利用者延人数	3,106人
1日あたりの利用者数	8.5人

② 介護度区分状況

	男	女	計
要支援1	0	0	0
要支援2	1	1	2
要介護1	1	6	7
要介護2	3	16	19
要介護3	5	25	30
要介護4	4	17	21
要介護5	1	6	7
計	15	71	86